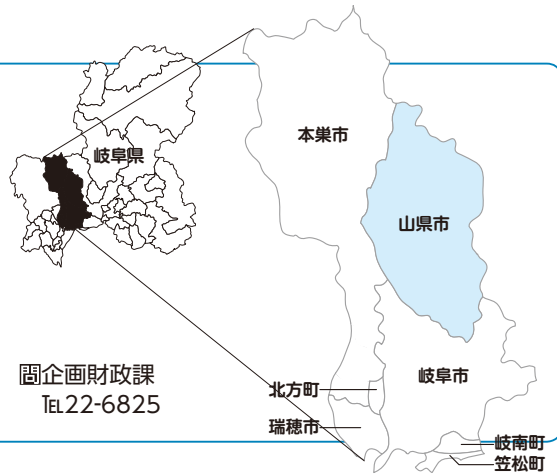


住み続けたいくなるまち「岐阜連携都市圏」を目指して 岐阜連携都市圏ビジョンを策定

岐阜市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町および北方町では、国が平成26年度から進めている連携中枢都市圏制度を活用し、「岐阜連携都市圏」を形成いたしました。

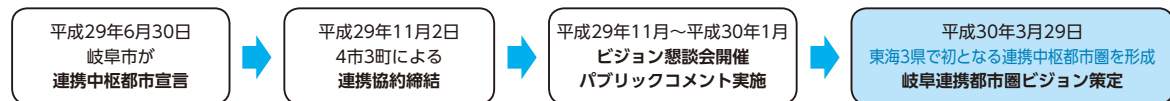
この連携中枢都市圏制度とは、人口減少と少子高齢化が進行する中で、相当の規模と中核性を備える地域の中心都市が、近隣市町と連携して事業に取り組むことで人口減少を食い止め、活力ある社会経済を維持するための圏域を形成することを目的とした取り組みです。



図企画財政課
TEL 22-6825

■ 連携中枢都市圏形成の手続き

岐阜連携都市圏形成までの歩み



■ 岐阜連携都市圏ビジョンの概要

○ 岐阜連携都市圏の目指すべき方向性と将来像

岐阜連携都市圏は、清流長良川など豊かで美しい自然環境に恵まれた地域でありながら、行政機関や文化・芸術・歴史に関する公的機関、重篤な病気や休日・夜間にも対応できる医療機関、高等学校や大学などの教育機関も充実しています。さらに、岐阜駅から名古屋駅まで鉄道で約20分という近距離に位置し、出掛けるうえにも便利で総合的な住環境の良さをアピールできる自立性のある一体的な圏域を形成しています。今後は、このような圏域の特徴を生かしながら、それぞれの市町の個性を尊重した連携事業を進めていきます。

岐阜連携都市圏ビジョンでは、圏域の目指すべき方向性を以下のように定め、みんなの個性が輝き、住み続けたいくなる岐阜連携都市圏を形成していきます。

【岐阜県の要として、ひと・もの・活力が集まる圏域】

名古屋圏という多くの人口を持つ市場と一大交通結節点の活用を視野に入れながら、産業活性化や観光交流人口の増加を目指し、岐阜県の要としてのポジションを確立します。

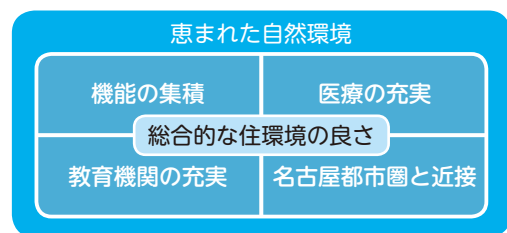
【教育、子育て、就労など、若い世代に魅力ある圏域】

良好な生活環境、教育、子育て、就労環境などの長所をさらに高めていくことで若い世代に魅力ある圏域を目指していきます。

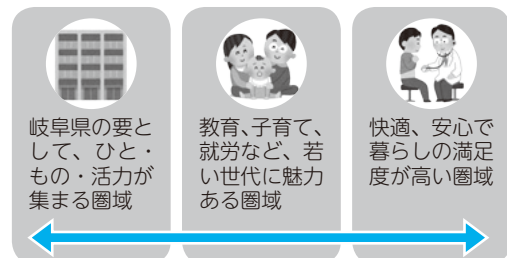
【快適、安心で暮らしの満足度が高い圏域】

高齢化や長寿化を想定した福祉や医療、健康への対応や、人口減少時代に備えた土地利用や道路、公共交通、防災体制の構築など、安心して暮らせる満足度の高い生活を守ります。

岐阜連携都市圏の特徴



目指すべき方向性



将来像

多様な地域の個性が輝き、住み続けたいくなる
「岐阜連携都市圏」

○ ビジョンに定める連携事業

岐阜連携都市圏ビジョンでは、平成29年11月に締結した連携協約に基づき、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの分野から34の連携事業に取り組めます。

岐阜連携都市圏ビジョンに定める34の連携事業のうち、主な取り組み

圏域全体の 経済成長のけん引	- 岐阜地域産学官連携交流会 - 圏域企業等就職合同説明会 など
高次の都市機能の 集積・強化	- 市街地再開発事業の促進 - 公共施設の洗い出しと利用状況の把握に向けた検討体制 など
圏域全体の 生活関連機能 サービスの向上	- 保育所の広域入所 - 広域避難体制の整備・強化 など

水と緑を大切に、活力ある山口市を目指して

協働のまちづくり活動補助金を活用してください！

協働して活力あるまちづくりを進めるため、市内で自主的に取り組まれるまちづくり活動を支援します。

企画財政課 TEL22-6825

平成30年度山口市協働のまちづくり活動補助金を
活用した事業を募集します。

募集期間 5月1日(火)～5月31日(木)

▶補助内容 補助対象事業費の5分の4以内 20万円まで

趣 旨	協働して活力あるまちづくりを進めるため、市内で自主的に取り組まれるまちづくり活動を支援します。
対 象 団 体	・市内に活動拠点をもち、平成30年度内に山口市まちづくり基本条例の理念を具体化しようとする活動を行うか、行う予定があること。 ・組織の設置を、定款、会則その他これに準じるもので定めていること。 ・年間の事業計画を有し、団体の収支が明確であること。
対象外の団体	・法令、条例などに違反する活動をしている団体 ・公の秩序または善良の風俗を害する活動をしている団体 ・宗教活動、政治的活動または営利活動を主な活動としている団体 ・未成年者および市外在住者のみで構成された団体 ・山口市が行う契約から暴力団排除に関する措置要綱(平成22年山口市訓令甲第13号)第3条各号に掲げるもの
対 象 事 業	・対象団体の年間の事業計画において実施される事業 ・自主的かつ公益的な事業 ・新規性または拡充性のある先駆的事业 ・単年度で実施する事業
対象外の事業	・事業の効果が特定の個人または団体のみに帰属する事業 ・単に物品販売や営利のみを目的とし、公益性を欠く事業 ・施設の建設または施設の維持管理を主たる目的とする事業 ・先進地などの視察や各種会議への出席、交流にとどまる事業 ・政治活動または宗教活動を行うことを目的とする事業 ・その他補助することが適当でないと認められる事業
対 象 外 経 費	・対象団体の運営経費に相当する経費 ・対象団体構成員に対する人件費、謝礼 ・その他補助することが適当でないと認められる経費

▶応募方法

補助金(助成金)交付申請書などの必要書類を5月31日(木)までに、企画財政課(市役所2階)へ提出してください。必要書類は企画財政課で受け取るか、市HPからダウンロードしてください。

山口市企画財政課(市役所2階)
〒501-2192 山口市高木1000番地1
TEL 22-6825 FAX 27-2075

山県市協働のまちづくり活動補助金活用実績

「協働して活力あるまちづくりを目指す」

この補助金は「山県市まちづくり基本条例」の理念である、協働して活力あるまちづくりを進めるために取り組まれる、まちづくり活動を支援するものです。平成29年度は、8団体がこの補助金を活用して事業を行いました。

「連柿の郷ふれあい秋まつり2017」

平井自治会(2回目)

補助額169,000円

平井自治会では、「連柿の郷」として郷土を見直すとともに、特産である伊良良大実柿を連ねた連柿の振興を図るため、11月26日、平井コミュニティセンター周辺で「連柿の郷ふれあい秋まつり2017」を行いました。まつりでは、地域の子どもたちによる柿みこしの巡回など、さまざまな催しが行われました。地域住民の皆さんの手でイベントを実施したり、テレビなどのメディアで地域の情報を発信したりすることで、地域の絆を深め、活気ある地域づくりにつながることができました。



「住みやすい旭ヶ丘を目指す事業」

旭ヶ丘自治会(2回目)

補助額119,000円

旭ヶ丘自治会は、周囲を山に囲まれ豊かな自然環境に恵まれている反面、荒廃した里山に悩まされています。そこで、自治会周囲の土地所有者を把握し、山林所有者と協働して里山の整備を行いました。周辺の山林や竹林を整備したことで、日が差し込むようになり、地域が明るくなりました。

そして、地域の課題に自分たちで取り組むことで、自治会内の連携、協力を密にすることができました。



「清掃ボランティア」

TEAM1999

補助額101,000円

TEAM1999は、旧美山南中学校を1999年に卒業した同級生の集まりで、毎月第1日曜日の早朝に美山地域を中心に地域環境の美化と維持を目的に活動しています。西武芸地区、富永地区、乾地区、北武芸地区を、徒歩で道路沿いのごみを拾ったり、カーブミラーを磨いたりしています。自分たちが住んでいる地域を自ら清掃することや、その姿を地域の人たちに知ってもらうことで、自然豊かな地域を守ることにつながり、また、若い人たちが活動することによって、地域の活気につながりました。



「燈す(ともす)」

長竹会

補助額47,000円

長竹会は、長滝地区の山林と竹林を守り、地域の活性化を目的に活動しています。7月15日には長滝地区の甘南美寺で竹燈籠たけとうろうを作成するワークショップが行われ、7月22日には、作成した竹燈籠に明かりをつけるイベント「燈す」が行われました。日が暮れ真っ暗になった境内を、およそ1,500基の竹燈籠がほのかに照らし、市内外から訪れた多くの来場者は神秘的な雰囲気を楽しみました。地域の若い世代と自治会が協働で活動し、人を呼び込むことで地域の活性化につながりました。



「里山アドベンチャー」
里山アドベンチャークラブ
補助額 152,000円

里山アドベンチャークラブは、季節にあった里山ならではの体験イベントを毎月企画・実施しています。

地域の子どもたちが、イベントの企画段階から関わり、地域の自然や、人にふれあいながら1年間、さまざまな経験を積み重ねました。参加者は、毎月、フェイスブックを通じて募りますが、毎回親子で参加する人も多く、保護者は、子どもたちの成長を楽しみに見守っています。

子どもたちから、地域の自然体験をすることで、ふるさとへの愛着心が育つことが期待されます。また、多くの子どもたちが地域に集まることで、にぎわいも生まれました。



「高富小学校区 世代を越えて楽しむ会」
世代を越えて楽しむ会実行委員会
補助金 169,000円

世代を越えて楽しむ会は、子どもたちの健やかな成長と、地域のさまざまな人たちの交流をねがい、高富小学校区の「多世代交流の場」を継続することを目的に活動しています。

10月15日、高富小学校体育館で世代を越えて楽しむ会が行われました。このイベントは、地域にある各種団体が連携して開催しました。今年は、小学生以下の子どもから65歳以上の高齢者が一緒にスカットボールを楽しみました。イベントも9回目となり、世代を越えて交流する場が地域に根付いています。



「三自治会盆踊り」
三自治会夏まつり実行委員会
補助額 89,000円

南・旭ヶ丘・螢ヶ丘の3自治会は合同で盆踊りを実施しています。このイベントは、自治会員相互の親睦を図ることはもとより、自治会の枠を越えた、地域コミュニティの再構築をめざし、支えあいの地域づくりの意識を醸成することを目的に実施しています。8月19日、会場では各自治会が結成した踊り隊を中心に、地域の人たちが盆踊り大会に参加。大勢で輪になって盆踊りを楽しみ、参加者は自治会を越えて交流しました。このイベントにより、地域間の絆を深めることができています。



「Life is sweet! 伊自良」
（一社）若者サポートnanaairo
補助額 97,000円

（一社）若者サポートnanaairoは、「障害のある人もない人も、個々の有する能力又は適性に応じ、地域社会で自立した日常生活を営むことができるように支援すること」を目的とした法人です。7月14日、同法人が運営するグループホーム「青空」で、「生きる楽しみを伊自良から発信」と題し講演会が行われました。当日は、ガーナで子どもたちの支援活動を行っている国分敏子さんが講演し、グループホーム周辺の地域住民などが参加しました。講演会を実施したことで、近隣の地域住民に法人活動を紹介し、交流することができました。

